

飯田大学連携会議

がくりん

「学輪IIDA」全体会 ～公開セッション～

日時：平成24年1月28日（土） 午後1時30分開会

場所：シルクホテル

【日 程】

【開会】13:30～14:00

①開会挨拶 ②来賓紹介 ③学輪 IIDA 経過報告

【先生方によるプレゼンテーション】 14:00～16:45

①プレゼンテーション前半：14:00～15:00

②質疑応答：15:00～15:10

③休 憩：15:10～15:25

④プレゼンテーション後半：15:25～16:15

⑤質疑応答：16:15～16:25

⑥来賓からのコメント：16:25～16:45

⑦休 憩：16:45～17:00

【学輪 IIDA プロジェクト会議の報告】 17:00～17:30

【閉会】17:30

【目 次】

- 参加者名簿（先生方・来賓等）・・・P 2～
- 学輪 IIDA 経過報告 ・・・P 4～
- 先生方のプレゼン資料 ・・・P 14～
- 学輪 IIDA プロジェクト会議の報告資料 ・・・52P～
(添付資料)
 - 「域学連携」地域づくり実証研究事業（総務省）
 - 域学連携・地域実践活動シンポジウム（総務省）
 - 平成24年年頭所感及び市政経営の方向について（概要）
 - 地域経済活性化プログラム2012

☆ご意見・ご感想をお寄せください

この会議や、こうした取組に対するご意見・ご感想をお寄せください

飯田市役所企画部企画課企画調整係

メール：ikikaku@city.iida.nagano.jp

電話：0265(22)4511（内線2224）

FAX：0265(53)4511

飯田大学連携会議「学輪IIDA」全体会

公開セッション 参加者名簿 (先生方・来賓など)

【学輪IIDA参加先生方】

出席	名前	大学名	学部名	職位・役職
	岩崎 正弥	愛知大学	経済学部	教授
○	戸田 敏行	愛知大学	地域政策学部	教授
○	黍島 久好	愛知大学	経済学部	講師
○	川上 恒夫	飯田女子短期大学	生涯学習センター長・家政学科	教授
○	松崎 行代	飯田女子短期大学	幼児教育学科	准教授
○	堀口 朋亨	大阪市立大学	都市研究プラザ	特認講師
	伊東 理	関西大学	文学部	教授
○	野間 晴雄	関西大学	文学部	教授
○	高島 知佐子	京都外国語大学	外国語学部	講師
	蘭 信三	上智大学	外国語学部	教授
	大杉 覚	首都大学東京	都市教養学部	教授
○	脇若 弘之	信州大学	工学部	教授
○	中島 厚	信州大学大学院	電気電子工学専攻	教授
○	田中 清	信州大学	工学部	教授
	酒匂 信匡	信州大学大学院	電気電子工学専攻	准教授
	佐々木 茂	高崎経済大学	地域連携戦略室長	教授
○	河藤 佳彦	高崎経済大学	地域政策学部	教授
	片岡 美喜	高崎経済大学	地域政策学部	准教授
	味水 佑毅	高崎経済大学	地域政策学部	准教授
	手塚 章	筑波大学大学院	生命環境系	教授
	呉羽正昭	筑波大学大学院	生命環境系	教授
○	兼子 純	筑波大学大学院	生命環境系	助教
	山下垂紀郎	筑波大学大学院	生命環境系	助教
○	牧野 篤	東京大学大学院	教育研究科	教授
	友田 清彦	東京農業大学	国際食料情報学部	教授
	寺内 光宏	東京農業大学	国際食料情報学部	教授
○	千賀 裕太郎	東京農工大学大学院	農学部共生科学技術研究院	教授
○	土屋 俊幸	東京農工大学大学院	農学部共生科学技術研究院	教授
○	朝岡 幸彦	東京農工大学大学院	農学部共生科学技術研究院	教授
○	榎本 弘行	東京農工大学大学院	(環境公法、都市計画学、土地利用制度論専攻)	専任講師
	井口 貢	同志社大学	政策学部	教授
	多田 実	同志社大学	政策学部	教授
○	大貝 彰	豊橋技術科学大学	建築・都市システム学系	教授
○	青木 伸一	豊橋技術科学大学	建築・都市システム学系	教授
	山田 聖志	豊橋技術科学大学	建築・都市システム学系	教授
	松島 史朗	豊橋技術科学大学	建築・都市システム学系	教授
	浅野 純一郎	豊橋技術科学大学	建築・都市システム学系	准教授
	増田 幸宏	豊橋技術科学大学	建築・都市システム学系	准教授
○	Emanuel Leleito	豊橋技術科学大学	建築・都市システム学系	研究員
○	寺井 豊	豊橋技術科学大学	建築・都市システム学系	博士後期課程1年
○	藤原 慎平	豊橋技術科学大学	建築・都市システム学系	博士前期(修士)課程1年
	林 良嗣	名古屋大学大学院	環境学研究科	教授

出席	名前	大学名	学部名	職位・役職
	中村 英樹	名古屋大学大学院	工学研究科	教授
	加藤 博和	名古屋大学大学院	環境学研究科	准教授
	大濱 裕	日本福祉大学	社会福祉学部	准教授
	江原 隆宜	日本福祉大学	社会福祉学部	助教
○	石神 隆	法政大学	人間環境学部	教授
	小門 裕幸	法政大学	キャリアデザイン学部	教授
○	西澤 栄一郎	法政大学	経済学部	教授
○	高柳 俊男	法政大学	国際文化学部	教授
	中嶋 聞多	法政大学大学院	政策創造研究科	教授
	宮木 いっぺい	法政大学大学院	政策創造研究科	准教授
	横井 勝彦	明治大学	商学部長	教授
	大友 純	明治大学	商学部	教授
	小川 智由	明治大学	商学部	教授
	水野 勝之	明治大学	商学部	教授
○	福岡 英典	明治大学	商学部	研究推進員
	竹本 田持	明治大学	農学部	教授
○	福島 茂	名城大学	都市情報学部	教授
	名主川 久仁	立命館アジア太平洋大学	学長室	課長
	有井 健	立命館アジア太平洋大学	アジア太平洋学部	准教授
○	銭 学鵬	立命館アジア太平洋大学	アジア太平洋学部	助教
○	平岡 和久	立命館大学	政策科学部	教授
○	森 裕之	立命館大学	政策科学部副学部長	教授
○	小畑 力人	和歌山大学	学長補佐・観光学部	教授
○	廣岡 裕一	和歌山大学	観光学部	教授
○	尾久土 正巳	和歌山大学	観光学部	教授

【来賓・その他】

澤田 史朗	総務省人材力活性化・連携交流室室長
乾 隆朗	総務省人材力活性化・連携交流室課長補佐
高橋 大樹	総務省人材力活性化・連携交流室係長
久保田 篤	下伊那地方事務所所長
松本 善彦	下伊那地方事務所副所長
青木 淳	長野県教育委員会高校教育課課長補佐
熊谷 和史	下伊那地方事務所地域政策課課長
林 俊秀	下伊那地方事務所地域政策課係長
小澤 一郎	(財)都市づくりパブリックデザインセンター
萩原 一平	(株)NTTデータ 経営研究所マネジメントイノベーションセンター長
代田 昭久	杉並区立和田中学校長
萩本 範文	多摩川精機株式会社代表取締役社長
藤原 律子	株式会社富士通総研

知のネットワークへの挑戦

～リニアを見据えた21世紀型戦略的地域づくり～

～飯田の大学連携の取組を通じて～

飯田市市長 年頭所感から

これまでの大学連携

南信州・飯田フィードスタディ

「フィードスタディ」とは、学生が大学を飛び出し、観光や農業、教育やまちづくりなど様々な分野において、現地の社会環境や自然環境を肌で感じながら、実体験や人々との交流を通して自らの問題意識を高める学習のことで、今年で4年目を迎えます。



フィードスタディにおける複数大学の共同講義

飯田と関係の深い教授などの所属大学等 (順不同・平成24年1月現在)

- 和歌山大学
 - 立命館アジア太平洋大学
 - 明治大学
 - 立命館大学
 - 京都外国語大学
 - 上智大学
 - 法政大学
 - 法政大学大学院
 - 東京大学大学院
 - 高崎経済大学
 - 名城大学
 - 同志社大学
 - 首都大学東京
 - 長野工業高等専門学校
 - 関西学院大学大学院
 - 名古屋大学
 - 日本福祉大学
 - 東京農業大学
 - 豊橋技術科学大学
 - 愛知大学
 - 筑波大学大学院
 - 大阪立大学
 - 京都外国語大学
 - 上智大学
 - 立教大学
 - 飯田女子短期大学
 - 信州大学
 - 信州大学大学院
 - 諏訪東京理科大学
 - 長野工業高等専門学校
 - 関西学院大学大学院
 - 一橋大学院
- 文部科学省国立教育政策研究所

大学連携会議「学輪 IIDA」の設立

飯田を起点に相互につながる有機的なネットワークの形成



学術研究都市 21世紀型の大学機能を目指す

- リニア将来ビジョン
- 小さな世界都市
- 守るべきもの
- 備えるべきもの
- 高付加価値都市圏
- 多様な主体

- 学輪 IIDA の取組
- ★学輪 IIDA 全体会
- ★プロジェクト活動

大学等の専門的な知見と、飯田が培ってきた様々な取組との融合により、取組の高度化が期待できる。

大学との連携による取組事例

～名古屋大学(国際交通安全学会)との共同事業～ ラウンドアバウトの社会実験

市内吾妻町ラウンドアバウトに、名古屋大学(国際交通安全学会)や地域住民と共同で、歩行者等の安全対策についての社会実験を実施。



～和歌山大学との共同プロジェクト～ 飯田市美術館博物館のデジタルアーカイブの新たな試み



飯田は高校卒業と同時に約8割の若者が地域を離れ、将来的にも約4割の方が帰ってこない現状があり、若者(人材)の流出が大きな課題になっています。

一方で飯田は、日本の東西の中間点に位置する地理的条件や、「環境モデル都市」や「南信州定住自立圏」など地域独自の地域経営や多様な主体による各種取組が全国モデルの先進事例として注目されており、「南信州・飯田フィードスタディ」などを通じて多くの大学研究者や学生達が飯田を訪れています。

また平成23年1月、南信州・飯田フィードスタディなどを通じてこ

れまで飯田と関係を深めてきた大学研究者等で、大学連携会議「学輪(がくりん)IIDA」を設立しました。飯田の大学連携の取組は、様々な大学が飯田と関係を持ち、これに集い、飯田を起点に専門的な知見が融合する状態をつくり、これに地域(産業界・教育界・住民・行政等)が関わることで有機的な「知のネットワーク」を形成し、専門的な知見を地域に呼び込んでいこうとするものです。

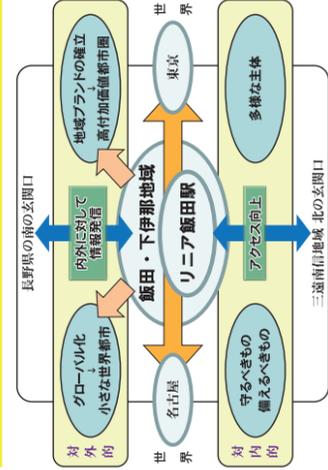
これからも飯田は、大学連携の取組などを通じて「飯田の豊かさを享受できる学術研究都市」を目指していきます。

これまでの取組を活かした今後の方向性

リニア中央新幹線飯田駅を見据えたまちづくり

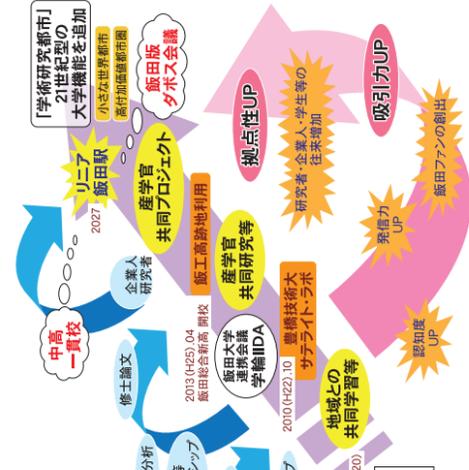


リニア中央新幹線飯田駅を見据えたまちづくりの方向性



飯田の大学連携 今後の方向性

～飯田インター大学を目指して～



大学連携の取組は、リニア将来ビジョンが目指すまちづくりや「飯田の豊かさを享受できる学術研究都市」の実現につながるものと考えています。

飯田の豊かさを享受できる学術研究都市

学輪 IIDA に代表される「知のネットワーク」による「21世紀型の戦略的地域づくり」を推進することで、「飯田の豊かさを享受できる学術研究都市」を実現を目指します。

「知のネットワーク」による21世紀型戦略的地域づくり

20世紀型の考え方

別の場所まで育てられた木を移植し、短期間で整然とした美しい街を形成することができるが、単なるハコノ誘致(人材誘導・人材育成など)手入れが不十分)だと...

【クラウド】
○地域に必要な専門的な知見を必要な時に提供してもらえらる人的ネットワーク

【産業ダイナミズムの創発】
○このような取組を積み上げながら、将来的には地域の産業創出につなげたい

【人材育成】
○地域の人材育成につなげる、又は人材誘致につなげる

【クラウド】
○地域に必要な専門的な知見を必要な時に提供してもらえらる人的ネットワーク

【産業ダイナミズムの創発】
○このような取組を積み上げながら、将来的には地域の産業創出につなげたい

【人材サイケル】の構築
リニア時代に向けた

21世紀型の考え方
○地域の「耕しと種まき」により萌芽させた小さな芽は、やがて地中深く根を張る大樹へと育つ。
○専門的な知見を地域に呼び込むことにより、地域人材が育成されるとともに、自立的・自律的な付加価値の創発をめざす。

【クラウド】
○地域に必要な専門的な知見を必要な時に提供してもらえらる人的ネットワーク

【産業ダイナミズムの創発】
○このような取組を積み上げながら、将来的には地域の産業創出につなげたい

【人材育成】
○地域の人材育成につなげる、又は人材誘致につなげる

【クラウド】
○地域に必要な専門的な知見を必要な時に提供してもらえらる人的ネットワーク

【産業ダイナミズムの創発】
○このような取組を積み上げながら、将来的には地域の産業創出につなげたい

【人材サイケル】の構築
リニア時代に向けた

【人材サイケル】の構築
リニア時代に向けた

【人材サイケル】の構築
リニア時代に向けた

学輪 IIDA キックオフイベント 学輪 IIDA 全体会の開催

これまでの取組を通じて、飯田には外から人を引き寄せる「魅力」が多くあることが分かってきました。大学などの高度な専門的な知見と地域の取組とが結びつくことで、更に魅力的な地域になることが期待されます。学輪 IIDA の取組は、まだ始まったばかりですが、これからは地域の皆様と一緒に進んでいくためのキックオフの機会として、大学連携会議「学輪 IIDA」第2回全体会を1月28日(土)に開催致します。

大学連携会議「学輪 IIDA」全体会

日時
平成24年1月28日(土)
午後1時30分～
午後5時30分
(受付:午後1時00分から)

会場: シルクホテル

日程・内容
●午後1時00分～ 受付
●午後1時30分～ 開会・学輪 IIDA 経過報告
●午後2時00分～ 参加先生方からのプレゼンテーション

※参加先生方から飯田に関する取組・飯田の評価等についてプレゼンテーションいただきます。
●午後5時00分～ 学輪 IIDA プロジェクト会議の報告
●午後5時30分 閉会

聴講を希望される方は、1月25日(木)までに飯田市役所企画課へ電話またはメールにてお申し込みください。

問い合わせ・申込先
飯田市役所
企画課 企画課 企画調整係
電話: 0265-22-4511
内線2224
✉ iikaku@city.iida.nagano.jp